

島根県立大学  
国際関係学部 国際関係学科  
国際関係コース

令和8年度（2026年度）  
総合型選抜（自己推薦）

小論文

【解答時間 90分】

以下の注意事項をよく読んで指示に従うようにしてください。  
指示に従わない場合は、不正行為と見なしますので、注意してください。

1. 解答開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。許可なくこの問題冊子を開いた場合は、不正行為と見なします。
2. 解答時間は90分です。
3. 試験問題は、1ページから5ページです。解答開始の合図があった後、問題冊子を確認し、印刷不鮮明な箇所等があった場合は、直ちに申し出てください。
4. 解答用紙は2枚あり、問題冊子とは別になっています。解答は指定された解答用紙の解答欄に横書きで記入してください。
5. 受験番号、氏名は2枚の解答用紙の所定欄すべてに記入してください。
6. 問題冊子の余白を下書きに利用しても構いません。
7. 試験時間中の退出はできません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題 下の文章は、2024年7月に発表されたものである。この文章を読んで、後の問いに解答しなさい。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

- 問1** 下線部（A）について、近年クルド人に対する差別が深刻化した背景には、どのような要因があると著者は指摘しているか。文章中の事例を挙げながら、180字以内で説明しなさい。
- 問2** 文章では、在日クルド人が「差別」や「不安」を感じる一方で、下線部（B）に示されているように、日本人住民も「クルド人が怖い」という感情を抱いていることが述べられている。このような状況が生じる背景には、どのような要因があると著者は指摘しているか。複数の要因を具体的に挙げて、280字以内で論じなさい。
- 問3** 下線部（C）の「共生」について、著者は在日クルド人と日本社会との間に生じている不安や対立を踏まえ、「共生」が実現できるのかと問題提起している。「共生」とは何かを示したうえで、それが実現可能かどうかを考察しなさい。さらに、実現に向けて日本社会にはどのような姿勢や取り組みが求められるかについて述べなさい。文章の内容を適切に参照しつつ、高等学校での地理歴史・公民科目を通じたあなた自身の学びや経験も踏まえ、600字以内で論じなさい。